

石川島記念病院

菅谷 清 総務・パート職員

功 績 院内の手すり・ドアノブ・机・椅子などを、丁寧に消毒用アルコールで磨き上げ、当直医室のベッドメイキングから病棟リネンの交換まで、常に几帳面で手抜きのない徹底した仕事を積み重ねて、職員や患者さん・ご家族に清潔・安心な環境を提供し続けてきている。中央区の就労支援担当からも、精勤ぶりを常に高く評価され、今回、障害者の勤続表彰も受けた功績。

推 薦 者 内科医 葛原信三、看護部 丸山恭子、総務 小杉学、人事 定元章子

推 薦 理 由 今回、中央区より、障害者の勤続表彰も受賞されました。区障害者就業支援センターの3ヵ月毎のフォロー面接でも、真面目な仕事振りに感心されています。引き続き、お元気でお仕事を続けて頂けるように、日頃からの感謝を込めて、理事長賞に推薦いたします。

内 容

菅谷清さんは、H29年に、中央区障害者就職支援センターの紹介により、石川島記念病院に入社されました。休院期間中は、1年間、遠い勤務となりましたがねりま健育会病院でご精勤頂き、H31年1月から、また石川島記念病院に戻ってご勤務されています。

聴力に障害がありますが、勤務上に支障はなく、院内の清掃、リネン類の交換、重要書類の裁断など、週4日、きっちりと担当して下さいます。

菅谷さんの勤務は、8:30～15:00までですが、朝一番から、消毒用エタノールを携行して、院内の拭き掃除を行います。「超」がつくほど真面目で几帳面な人柄なので、病棟・階段の全ての手すりとドアノブ、デイルームや会議室、理事長室、医局などの全ての机・椅子、1階・2階のロビー待合のソファや書写台、エレベーターのドア表裏とタッチパネル、共用の電子カルテのキーボード、受話器、アクリルの遮蔽版…と、凡人が触れそうな部分は全て、1日に2～3巡、アルコールで丁寧に拭き上げます。感染防止担当の常勤医が、「こんなに丁寧に環境の除菌をしてくれている病院は、初めてです」と太鼓判を押すほどの徹底ぶりです。

当直医室のベッドのリネン交換とベッドメイキングも、折り目が一直線に揃うほど几帳面に仕上げられて下さるので、他大学の当直の先生方からも、「この病院は、とても当直の環境がよくて過ごしやすい」とお褒めを頂いています。

また、看護師・看護助手が女性ばかりなので、病棟から出るゴミや使用済みリネンの屋外搬出、病室への新しいリネン搬入からベッドメイキングまで、一緒に行って下さいます。ご高齢で腰痛もお持ちですが、温厚でやさしいお人柄なので、「誰かが手伝ってあげないといけないのなら」と、嫌な顔ひとつせず、手伝って下さいます。

時間と手間のかかる、院内の重要書類・顧客情報のシュレッダー裁断も、担って頂いている大事な仕事

です。給茶機の水タンクの補充など、気づかない仕事も、カバーして下さいます。

現役時代は、機械設計のエンジニアで浄水関連の研究もさせていただきあって、ご自分の担当する仕事は一日を21項目別に分けた詳細な「業務計画書」に落とし込んであり、「拭き洩れ」や「やり残し」などは発生しません。

年末年始のコロナ禍の間は、病棟隔離体制をとったので、菅谷さんも4階・5階に立ち入ることができませんでした。何度も、「私がお手伝いしなくて、大丈夫ですか」と大変心配されていましたが、その分、3階以下の共有スペースやロビー、エレベーターを徹底的に除菌して下さり、職員も安心して仕事に集中することができました。また、Afterコロナ対策として、リハビリテーションフロアの密を解消するために、病室や病棟廊下でのリハビリテーションも増えましたが、菅谷さんが拭き上げてくださる手すりが今まで以上に有効活用されています。

職員からのサンキューカードでも、「人が見ていないところでも、陰ひなたなく、環境を支えて頂き、ありがとうございます」という投稿が、数多く寄せられます。